

作文 低学年

蒲郡北部小学校3年

洞田 莉瑚

「りこちゃん、作文が文部科学大臣賞に入ったんだって。」

わたしは、とつぜん知夏先生にそういわれて、意味が分かりませんでした。家に帰ったら、お母さんが、「りこ、文部科学大臣賞だって。校長先生から電話があったよ。びっくりしちゃった。」と、言いました。すぐに河辺先生にも知らせました。

「すごいなあ、りこ。先生、有名になっちゃうなあ。」

と言って、すごく喜んでくれました。おじいちゃん、おばあちゃんも、

「まあ、りこちゃん、すごいねえ。」

と、毎日毎日、何回も何回も言ってくれました。

表しょう式では、作文を読むのがわたしだけだと聞いてちょっときんちょうしたけれど、河辺先生や、たくさんのおうえんに来てくれたので、うれしくて、あっという間に読み終わってしまいました。あんなに大きなしょうじょうははじめて見たし、すかし入っているのにびっくりしました。このしょうじょうは、『ぞうへいきよく』という、おさつが作られているところでしたと聞き、もっとびっくりしました。式が終わって、だんだんうれしくなってきました。

わたしは、この作文を書くとき、とても楽しく書けました。河部先生の話を書くところは、思い出しわらいをしながら書きました。この作文を読んだり、聞いたりした人たちが、「そうだよねえ。うちの子も河辺先生、大すきだよ。いい先生だよね。」と、たくさん言ってくれました。

この作文をえらんでくれて、河辺先生を有名にしてくれて、ありがとうございました。